

河川の自然環境の現状と課題



・河口の干潟の様子

H14年11月ラムサール条約登録湿地となった

特別保護地区
323ha

国設鳥獣保護区
770ha

庄内川河口干潟

新川

世田区

名港西一区

-1.0km

-2.0km



シロチドリ



ハマシギ

河川水辺の国勢調査

主要な種

ハマシギ
カワウ
オナガガモ

特定種

カワウ
オナガガモ
コアジサシ
シロチドリ
カンムリカイツブリ

全12種



カンムリカイツブリ

渡り鳥の飛来地として国際的に重要な干潟の環境がある

出典：河川水辺の国勢調査

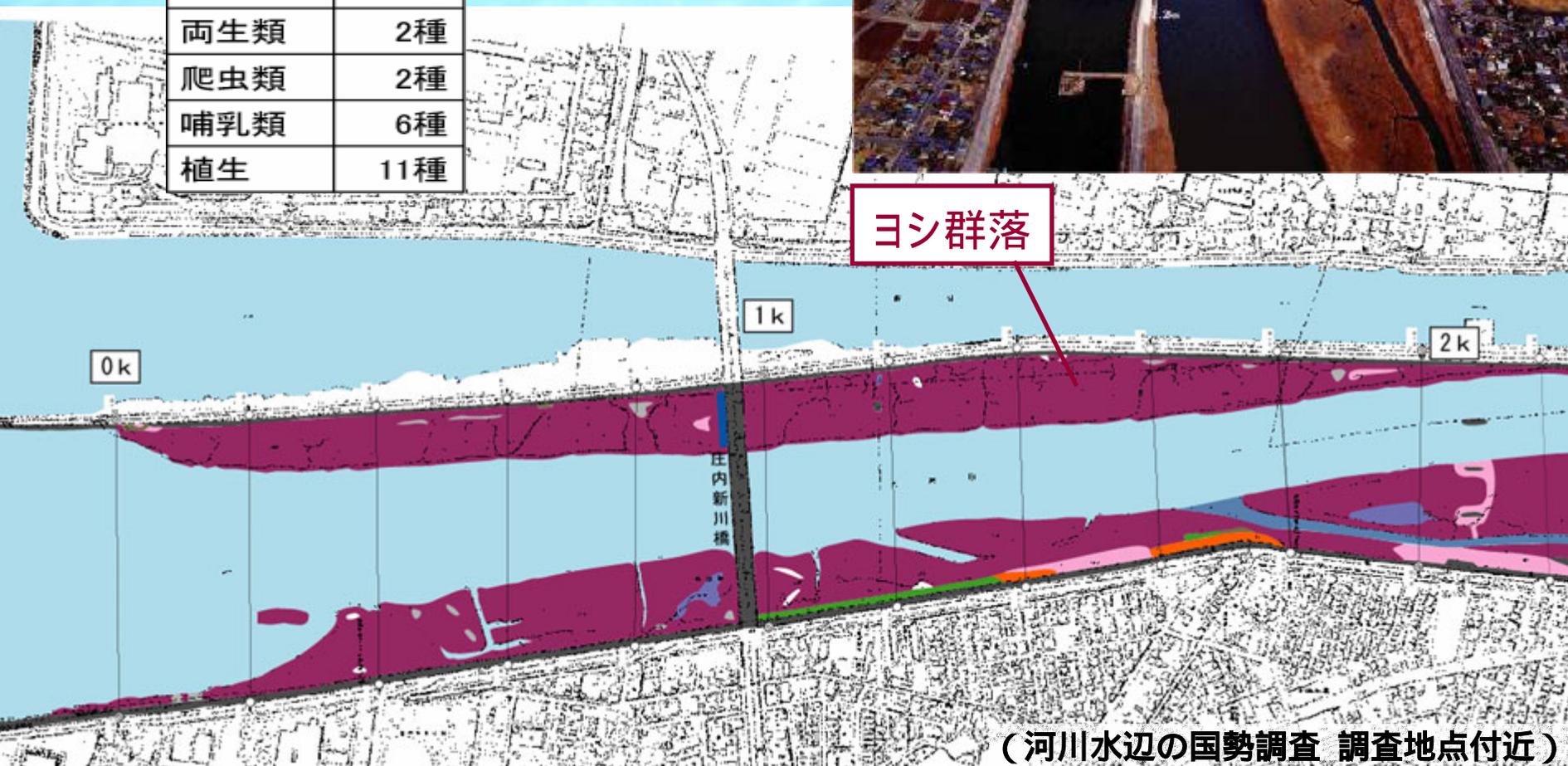
・動植物の主な確認状況(河口)

現地確認種数

種類	種数
陸上昆虫	307種
底生動物	31種
鳥類	69種
魚類	21種
両生類	2種
爬虫類	2種
哺乳類	6種
植生	11種

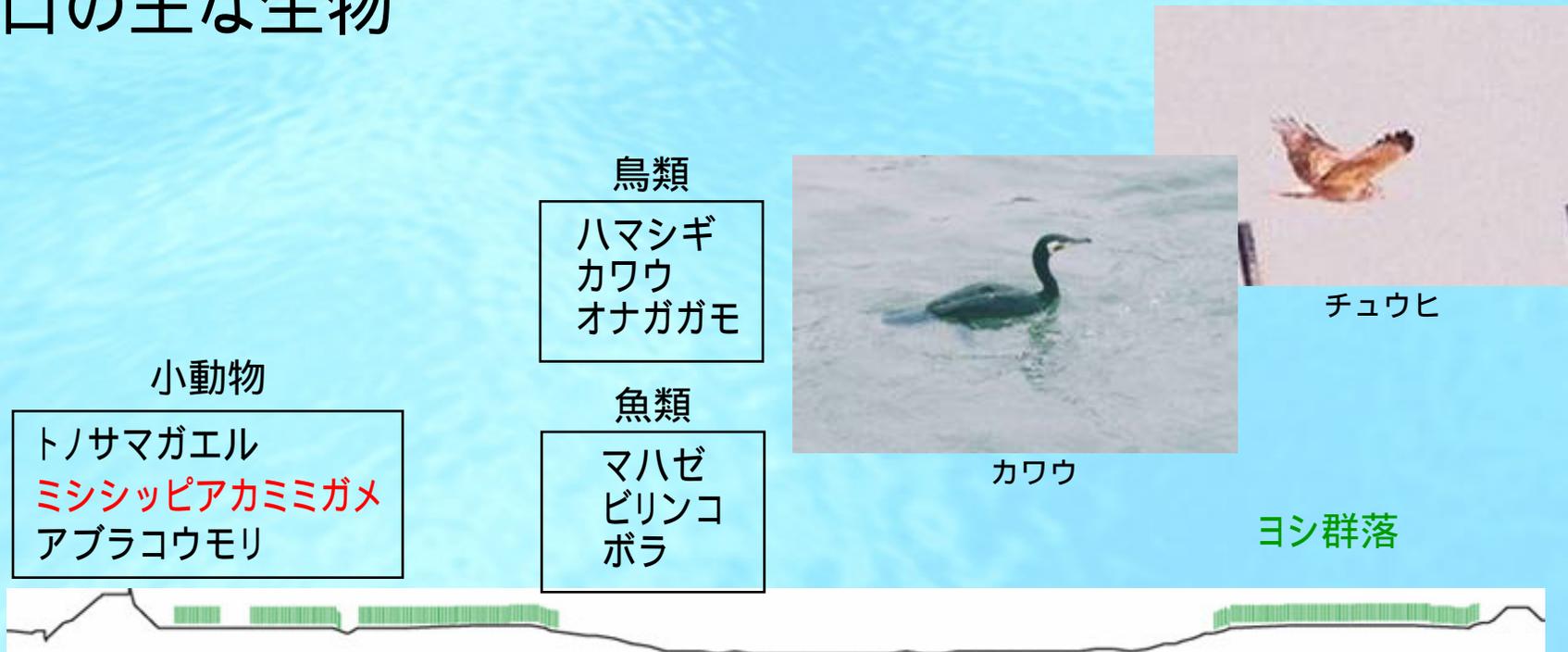


ヨシ群落



(河川水辺の国勢調査 調査地点付近)

・河口の主な生物



小動物

トノサマガエル
ミシシippアカミミガメ
 アブラコウモリ

鳥類

ハマシギ
 カワウ
 オナガガモ



カワウ



チュウヒ

魚類

マハゼ
 ビリンコ
 ボラ

ヨシ群落

陸上昆虫

ユスリカ科の一種
 ウスモンミドリカスミカメ
 シロオビノメイガ

底生動物

Notomastus属の一種
 ヤマトスピオ
 Corophium属の一種

食物連鎖のイメージ

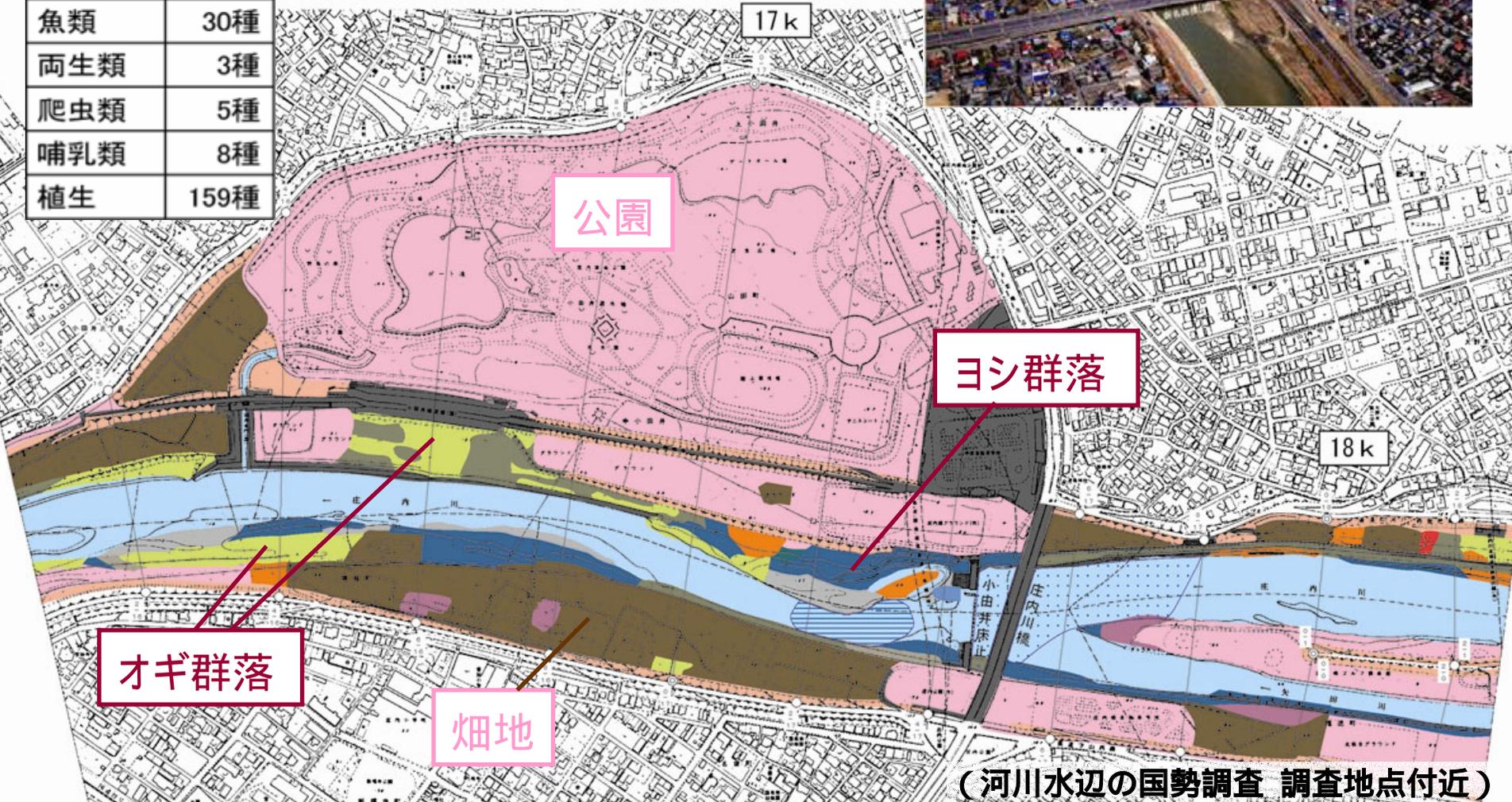
上位種	チュウヒ 等
消費者	ハマシギ マハゼ ミシシippアカミミガメ アブラコウモリ ヤマトスピオ ウスモンミドリカスミカメ 等
生産者	ヨシ群落 等

注) 黒 : 現地確認された
 主要な種
 緑 : 植生群落
 赤 : 外来種

・動植物の主な確認状況(下流)

現地確認種数

種類	種数
陸上昆虫	554種
底生動物	42種
鳥類	55種
魚類	30種
両生類	3種
爬虫類	5種
哺乳類	8種
植生	159種



(河川水辺の国勢調査 調査地点付近)

下流の主な生物



ハシボソガラス

鳥類

ドバト
スズメ
ハシボソガラス

魚類

オイカワ
アユ
コウライモロコ

小動物

トノサマガエル
ミシシippアカミミガメ
アブラコウモリ

オギ群落

陸上昆虫

ユスリカ科の一種
マルカメムシ
モンシロチョウ

底生動物

エリユスリカ亜種の数種
イトミミズ科の数種
ミミズ綱(貧毛綱)の数種

食物連鎖のイメージ

上位種	トビ 等
消費者	ドバト オイカワ ミシシippアカミミガメ アブラコウモリ マルカメムシ 等
生産者	オギ群落 等

注) 黒：現地確認された
主要な種
緑：植生群落
赤：外来種

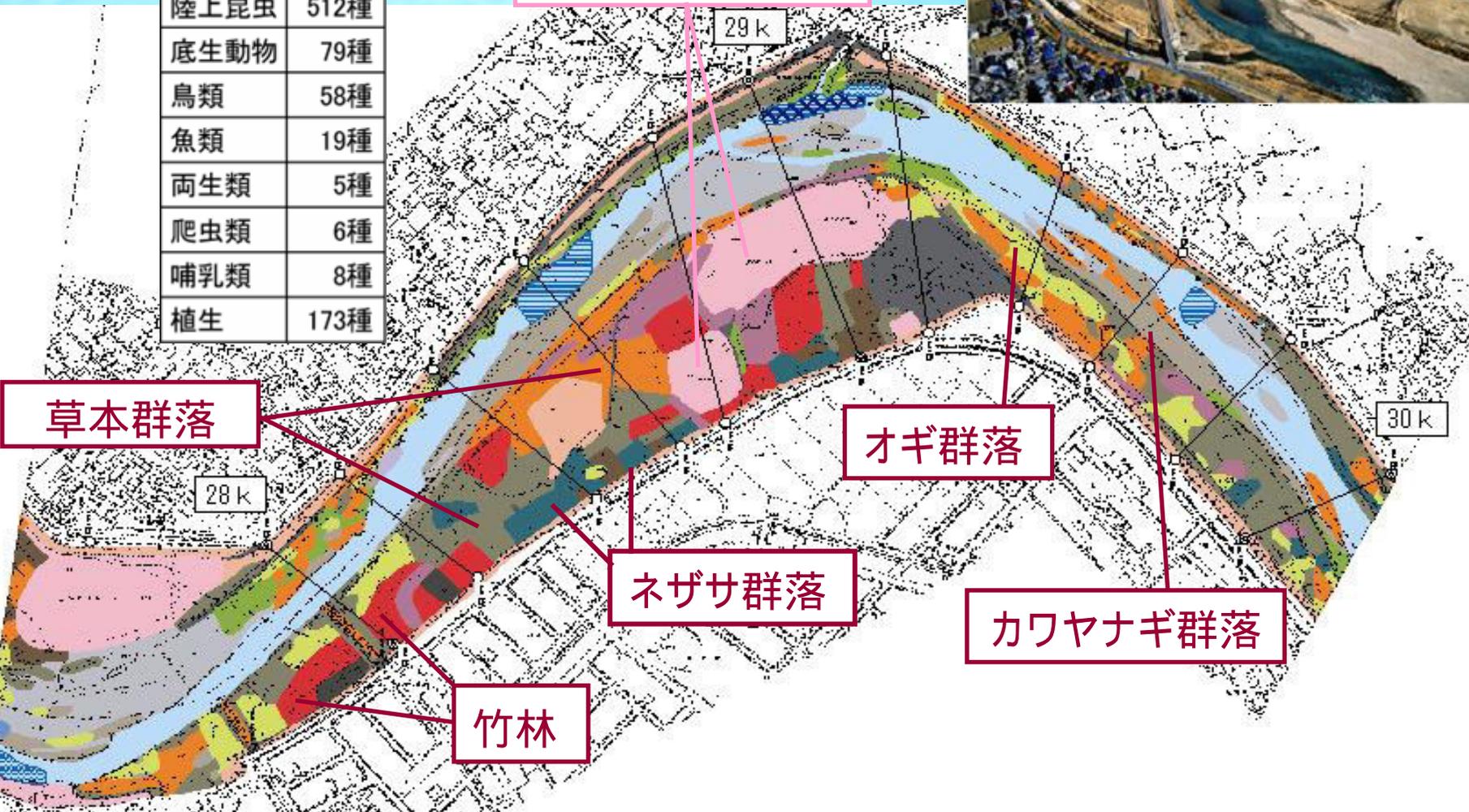
・動植物の主な確認状況(中流)

現地確認種数

種類	種数
陸上昆虫	512種
底生動物	79種
鳥類	58種
魚類	19種
両生類	5種
爬虫類	6種
哺乳類	8種
植生	173種



公園・グラウンドなど



草本群落

オギ群落

ネザサ群落

カワヤナギ群落

竹林

・中流の主な生物



ムクドリ

鳥類

ムクドリ
スズメ
ツバメ



ツバメ

小動物

ヌマガエル
ミシシippアカミミガメ
アブラコウモリ

魚類

オイカワ
タモロコ
カワヨシノボリ

クズ群落
オギ群落



陸上昆虫

ユスリカ科の一種
ケシカタビロアメンボ
ミドリカスリヨコバイ

底生動物

ミズミズ科の一種
エリユスリカ亜種の数種
Cheumatopsyche属の数種

食物連鎖のイメージ

上位種	トビ 等
消費者	ムクドリ オイカワ ミシシippアカミミガメ アブラコウモリ ケシカタビロアメンボ 等
生産者	クズ群落 等

注) 黒：現地確認された
主要な種
緑：植生群落
赤：外来種

・動植物の主な確認状況(玉野溪谷)

現地確認種数

種類	種数
陸上昆虫	615種
底生動物	99種
鳥類	38種
魚類	13種
両生類	4種
爬虫類	3種
哺乳類	12種
植生	180種

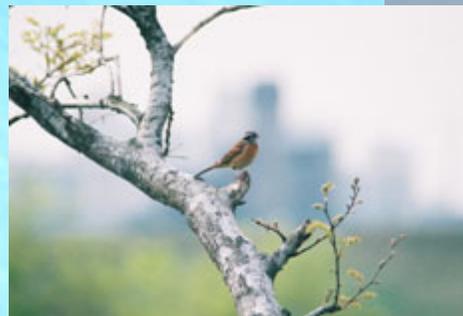


(河川水辺の国勢調査 調査地点付近)

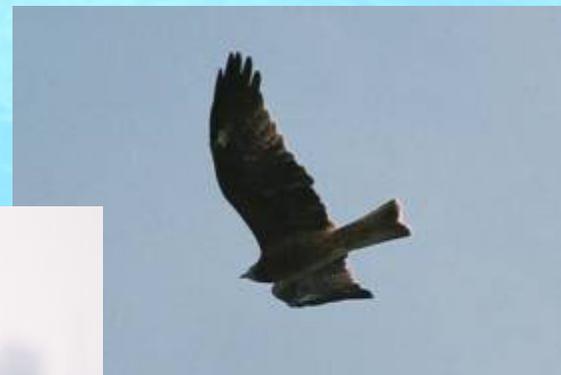
玉野溪谷の主な生物

鳥類

ヒヨドリ
オシドリ
ホオジロ



ホオジロ



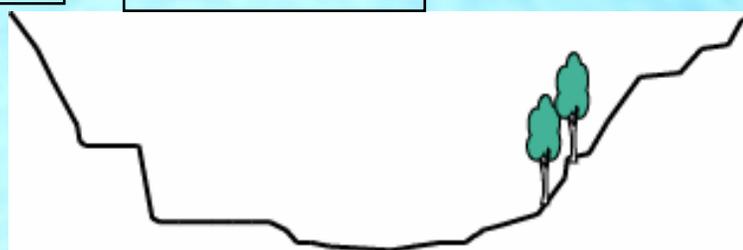
トビ

小動物

ウシガエル
トカゲ
アカネズミ

魚類

オイカワ
カワヨシノボリ
カマツカ



落葉広葉樹林

(コナラ群落、
アカメガシワ - ヌルデ群落)

食物連鎖のイメージ

上位種	トビ 等
消費者	ヒヨドリ オイカワ ウシガエル アカネズミ トビイロケアリ ウルマーシマトビケラ 等
生産者	コナラ群落 等

陸上昆虫

アリ科の一種
Procladius属の一種
トビイロケアリ

底生動物

ミズミズ科の一種
エリユスリカ亜種の数種
ウルマーシマトビケラ

注) 黒：現地確認された
主要な種

緑：植生群落

赤：外来種

・動植物の主な確認状況(上流)

現地確認種数

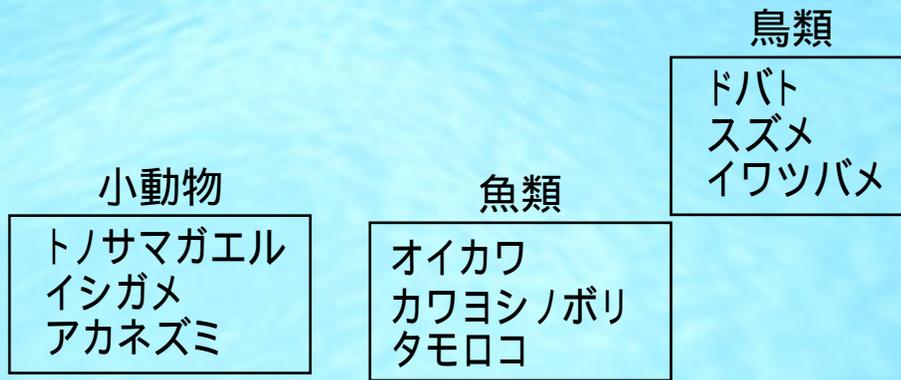
種類	種数
陸上昆虫	559種
底生動物	87種
鳥類	40種
魚類	18種
両生類	4種
爬虫類	5種
哺乳類	10種
植生	162種



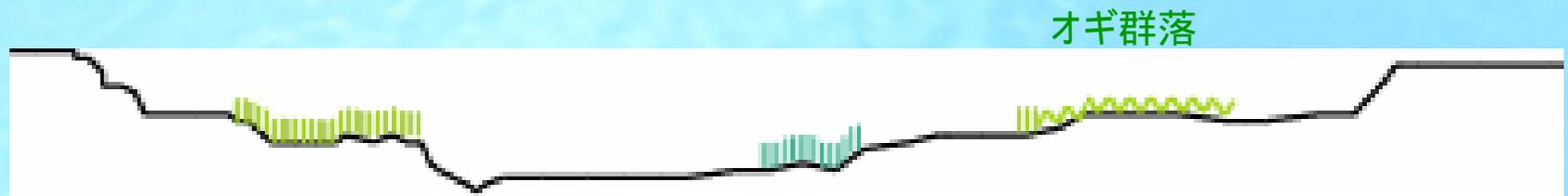
(河川水辺の国勢調査 調査地点付近)



上流の主な生物



イワツバメ



オギ群落

陸上昆虫
 ユスリカ科の一種
 トビイロケアリ
 メダカナガカメムシ

底生動物
 エリユスリカ亜科の数種
 フタバコカゲロウ
 Antocha属の一種

食物連鎖のイメージ

上位種	トビ 等
消費者	ドバト オイカワ トノサマガエル アカネズミ トビイロケアリ フタバコカゲロウ 等
生産者	コナラ群落 等

注) 黒：現地確認された
 主要な種
 緑：植生群落
 赤：外来種

・主な貴重生物

環境省レッドデータブック・レッドリスト記載種(現地確認種)

種名	選定基準	
	1	2
魚類	イチモンジタナゴ	- EN
	スジシマドジョウ 小型種東海型	- EN
	アカザ	- VU
植物	ミゾコウジュ	- NT
	カワヂシャ	- NT
両生類	ダルマガエル	- VU
爬虫類	スッポン	- DD

種名	選定基準	
	1	2
鳥類	チュウサギ	- NT
	ミサゴ	- NT
	オオタカ	- VU
	チュウヒ	- VU
	ハヤブサ	- VU
	ホウロクシギ	- VU
	コアジサシ	- VU
底生動物	コジュリン	- VU
	モノアラガイ	NT -
	ナガオカモノアラガイ	NT -

1: 環境省編 「レッドリスト」掲載種(2000)

EX: 絶滅、EW: 野生絶滅 CR+EN: 絶滅危惧I類 VU: 絶滅危惧 類

NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足

2: 環境省編 「レッドデータブック」掲載種(2000年以降刊行)

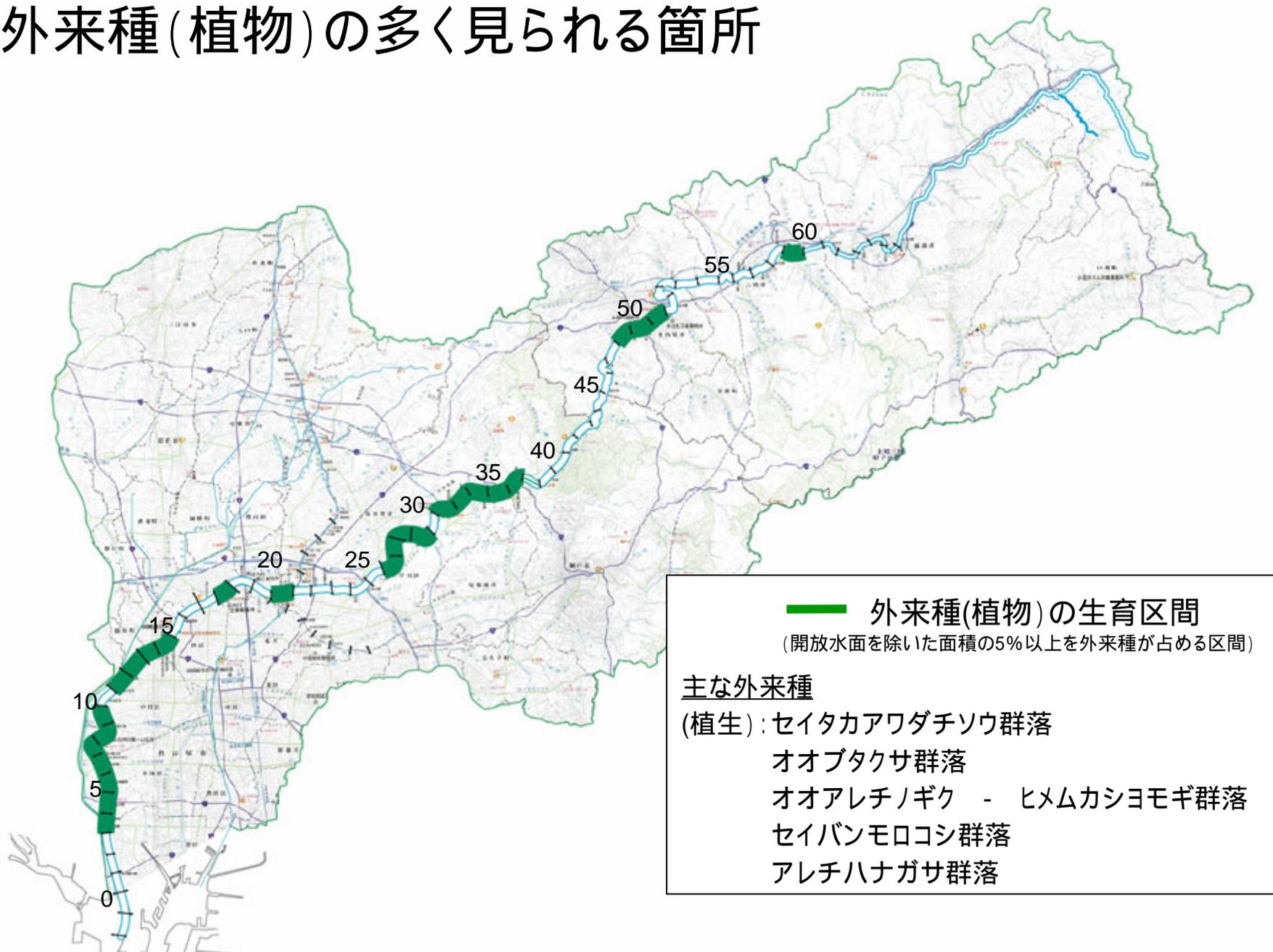
EX: 絶滅 EW: 野生絶滅 CR: 絶滅危惧IA類 EN: 絶滅危惧IB類

VU: 絶滅危惧 類 NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足

河川水辺の国勢調査により確認された特定種(直近調査結果)

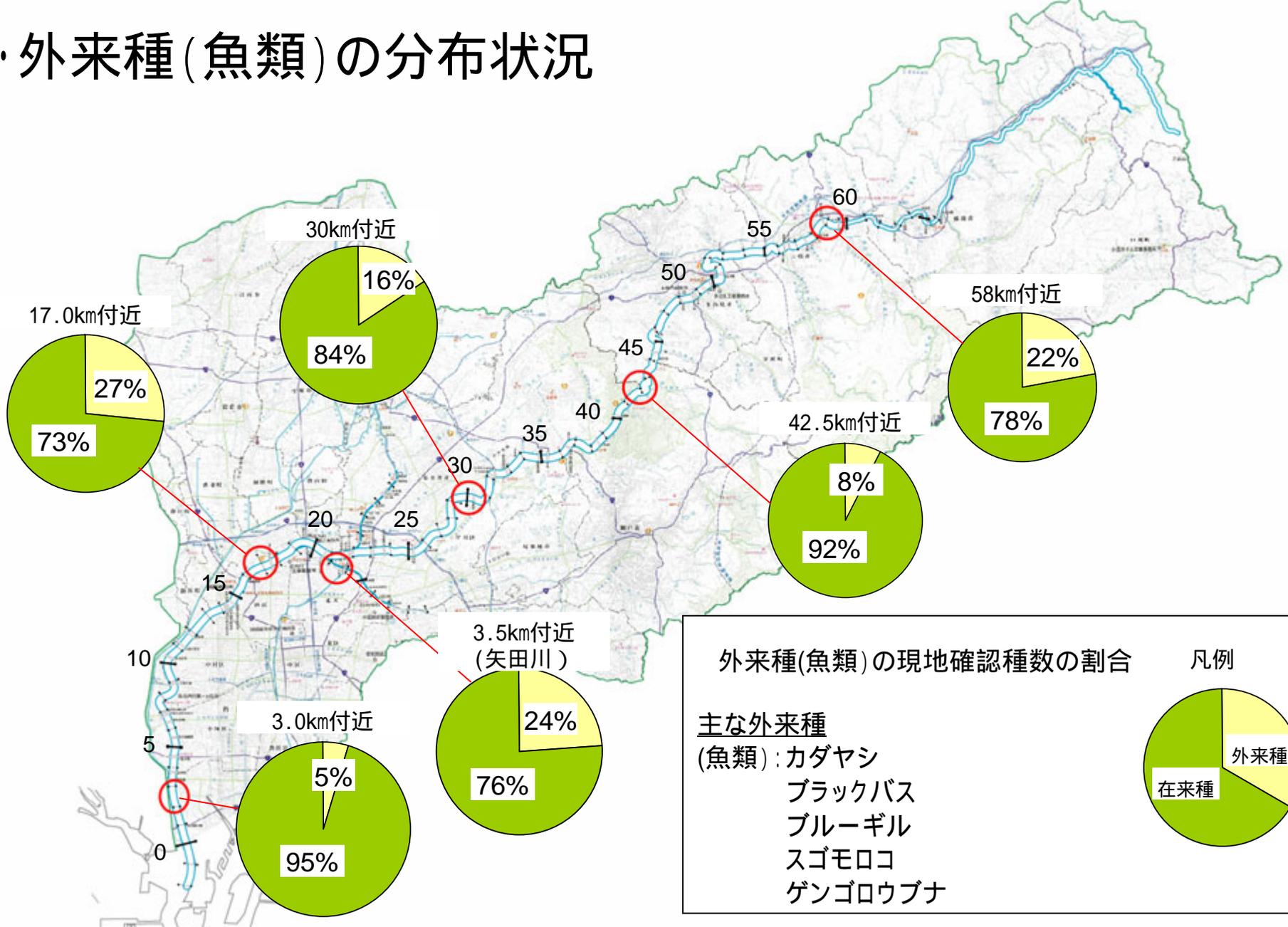
魚類	植物	鳥類	両生類	哺乳類	爬虫類	底生動物	陸上昆虫
8種	9種	18種	1種	1種	2種	8種	14種

・外来種(植物)の多く見られる箇所



このデータの「外来種」は、河川水辺の国勢調査にて「帰化種」として位置付けられている種を用いた。

・外来種(魚類)の分布状況



このデータの「外来種」とは、河川水辺の国勢調査にて「自然分布域外に、人の手により運び込まれた種」として位置付けられている種を用いて集計した

・庄内川環境特性検討会(平成8年3月～平成9年2月)

の概要

目的

本検討会は、庄内川の河川環境特性の現状を再確認するとともに、望ましい河川環境を保全・創造していくための参考にとするものです。

メンバー

高木 不折	名古屋大学工学部教授
和田 吉弘	中部女子短期大学副学長
佐藤 正孝	名古屋女子大学家政学部 生物学研究室教授
南川 幸	名古屋女子大学家政学部教授
小笠原昭夫	名古屋聖霊短期大学講師
宮尾 嶽雄	元愛知学院大学歯学部教授
宮田 照由	矢田・庄内川をきれいにする会会長
浅沼 秀夫	愛知県野鳥保護連絡協議会議長
安藤 清也	土岐川漁業協同組合代表理事
伊澤 佑保	庄内川漁業協同組合代表理事
楓 藤太郎	多治見自然の会会長
柿内 賢治	住民に親しまれる名古屋港を考える会事務局長
遠山 孝志	春日井市小中学校理科研究会
田所 正	庄内川工事事務所長

・庄内川らしさ(河口・下流部)



河口 - 2.0k ~ 0.0k 付近



惟信(いしん) 2.0k ~ 3.0k 付近



・庄内川らしさ(中流部)

大留橋(おおどめばし)
34k ~ 35k 付近



吉根橋(きっこばし)
30.4k 付近



・庄内川らしさ(玉野溪谷・上流部)

古虎溪(ここけい)
43k ~ 44k付近



虎溪山永保寺(こけいざんえいほうじ)
51k ~ 52k付近



・河川の自然環境の面から見た課題

生態系の保全と再生

- ・治水との調和のとれた環境対策(環境保全)
- ・河川内に残された自然環境の保全と外来種対策

